第3章 住民意向調查

市民の意見を把握し計画に反映させるために、アンケート調査、ワークショップを実施 しました。



(1)住民アンケートの概要

【目的】

・八戸市の緑に関する評価や課題の把握、長根公園の利用状況や今後の整備の 方向性等を定量的に把握する。

【調査対象】

- ・市内を 10 地域に区分し、地域ごとに 20 歳以上の男女それぞれ 100 名を無作為抽出 (その際、地域ごとの年齢層のバランスを考慮)。 合計 2,000 名を対象とする。
- ・地域区分については、上位計画である都市計画マスタープランの地域区分と 整合を図る。

【実施時期】

・平成 15 年 7 月中旬から下旬にかけて実施

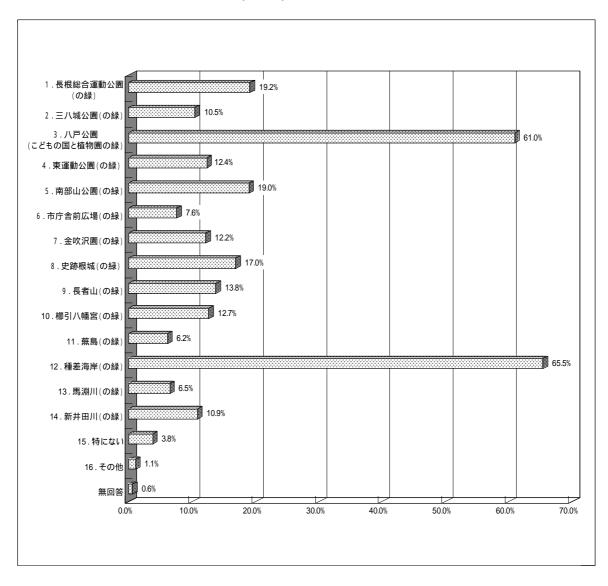
【回収状況】

・631票(回収率31.6%)

(2)アンケート調査結果

八戸市内の好きな緑 (緑地)について

・最も多いのが「種差海岸(65.5%)」で、次いで「八戸公園(61.0%)」となっています。これは、地域別にみても同様な結果となっており、これらの緑(緑地)は広く市民に好まれている緑(緑地)といえます。



八戸市内の緑(緑地)の評価について

- ・地域によらず「大規模な公園」や「山林」「農地」等の自然環境については概ね満足していますが、「身近な公園や遊び場」「観光客の集まる施設の緑」への不満が高くなっています。
- ・また、本市の「顔」となっている三日町等の中心商店街や、八戸駅、本八戸駅といった駅前の緑に対する不満が高くなっています。

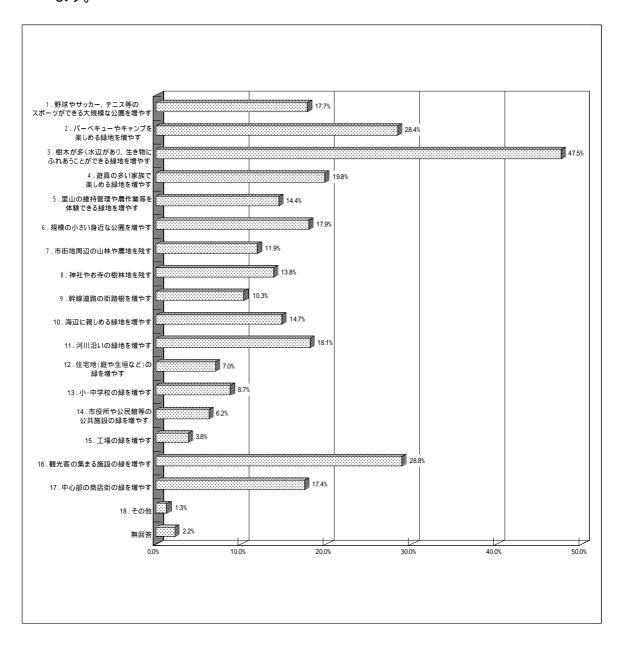
< 八戸市内の緑(緑地)の評価について>

	市川地域	下長地域	八戸駅周辺地域	中央地域	根城・田面木・新都市地域	湊・白銀・鮫地域	豊崎地域	館.是川地域	大館地域	南浜地域	総計
ア)大規模な公園(長根総合運動公園など)	-	-	-		-	1	-	-	-	1	-
イ) 身近な公園や遊び場											
ウ)幹線道路の街路樹	-		-	-	-		-		-		-
エ)市街地内の神社やお寺の樹林地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オ)市街地周辺の農地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カ)市街地周辺の山林	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キ)馬淵川等の河川の緑	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-
ク) 民家の緑	-	-	-	-	-	ı	-	ı	-	ı	-
ケ)学校の緑	-	-	-	-	•	1	-	•	-	ı	-
コ)市役所、公民館等の公共施設の緑	-	-	-	-	-	1	-	-	-		-
サ)工場の緑	-	-	-	-	-	-	-	-			-
シ)観光客の集まる施設の緑		-							-		-
ス)八戸駅前の緑											
セ)本八戸駅前の緑											
ソ)三日町等の中心部商店街の緑											

:「満足」「やや満足」 -:「普通」 :「不満」「やや不満」のうち、最も高い割合を示している記号を記入しています。

八戸市の今後の緑のまちづくりの方向性について

・市全体としては、「樹木が多く水辺のある緑地を増やす(47.5%)」が最も多く、次いで「観光客の集まる施設の緑を増やす(28.8%)」「バーベキューやキャンプを楽しめる緑地を増やす(28.4%)」となっており、これは地域別にも同様な傾向があります。



身近な緑の評価について

- ・総じて「子どもの遊び場」「気軽に憩うことができる場」等のレクリエーションの場としての身近な緑地や、樹木や水辺に親しめる場に対する不満の割合が高くなっています。
- ・地域全体の緑の量については、「中央地域」や「八戸駅周辺地域」等の市街地を含む 地域における緑に対する不満の割合が高くなっています。

<身近な緑の評価について>

<身近な緑の評価について>	市川地域	下長地域	八戸駅周辺地域	中央地域	根城・田面木・新都市地域	湊・白銀・鮫地域	豊崎地域	館・是川地域	大館地域	南浜地域	総計
ア)子どもの遊び場											
イ) 気軽に憩うことができる場											
ウ)体操等の軽い運動ができる場				-							
エ)キャッチボール等の軽いスポーツができる場		-									
オ)イベントや地域の活動ができる場					-					-	
カ)災害時に避難できる場	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-
キ)ペット等を連れて散歩できる場	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-
ク)樹木や草花を観賞できる場					-						
ケ) 昆虫等の生き物と触れ合える場							-			-	
コ)水辺に親しめる場											
サ)騒音を和らげる緑							-	-			
シ)火災による延焼を防止する緑							-	-	-	-	
ス)季節感を与える緑	-		-	-	-		-	-		-	-
セ)美しい街並みをつくる緑					-						
ソ)地域全体の緑の量		-			-			-		-	

^{:「}満足」「やや満足」 -:「普通」 :「不満」「やや不満」のうち、最も高い割合を示している記号を記入しています。

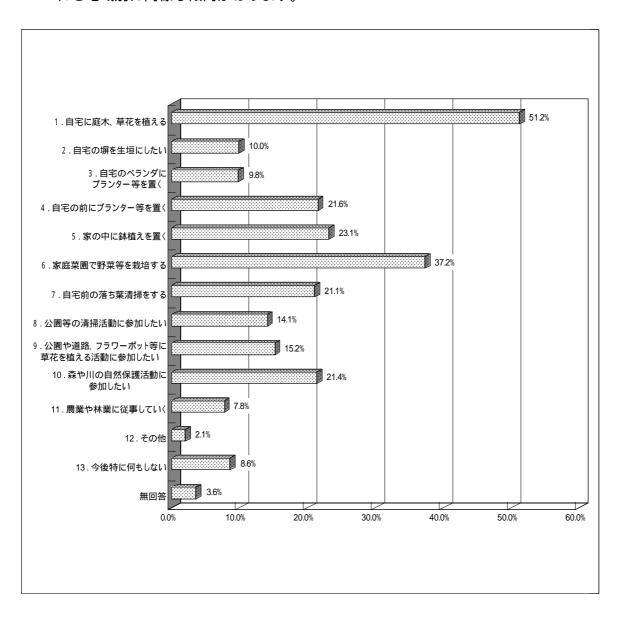
地域で取り組んで欲しいこと

- ・住んでいる地域で取り組んで欲しいこととしては、「自然散策や憩いの場となる緑地をつくる(44.4%)」が最も多く、次いで「子どもの遊び場となる広場をつくる(37.6%)」となっています。
- ・中央地域等の市街地だけでなく、山林等の自然環境が広がる館・是川地域、大館地域等の市街地郊外においても、「自然散策や憩いの場」を求める意見が多くみられます。これは、「子どもの遊び場」についても同様な傾向がみられ、特に豊崎地域や南浜地域においては、「自然散策や憩いの場」を求める割合を大きく上回っています。
- ・八戸駅周辺地域や湊・白銀・鮫地域においては、「災害時の避難の場」を求める意見が比較的多くなっています。

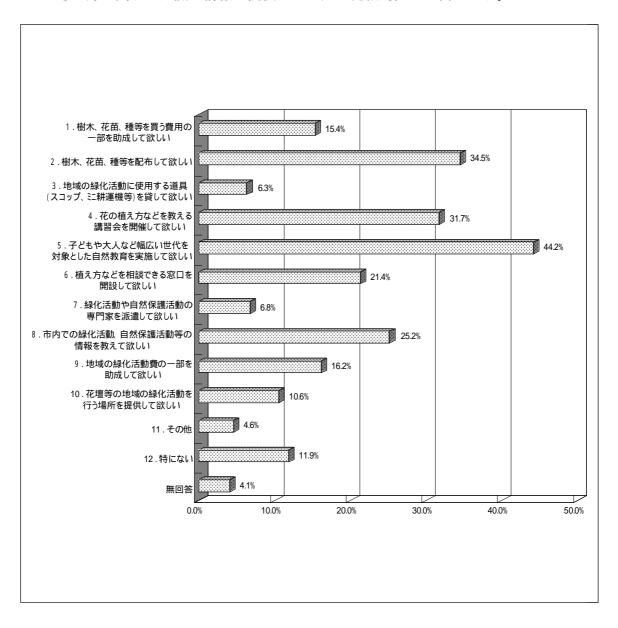
地域名	第1位	第2位	第3位
市川地域	自然散策や憩いの場	子どもの遊び場	水辺に親しめる場
	(43.1%)	(29.3%)	(29.3%)
下長地域	自然散策や憩いの場	子どもの遊び場	水辺に親しめる場
	(56.2%)	(32.9%)	(31.5%)
八戸駅周辺地域	子どもの遊び場	自然散策や憩いの場	災害時の避難の場
	(48.1%)	(47.2%)	(31.5%)
中央地域	自然散策や憩いの場	子どもの遊び場(30.0%	6)
	(52.0%)	樹木や草花を観賞できる	5場(30.0%)
		道路の街路樹を増やす((30.0%)
根城・田面木・新都市	自然散策や憩いの場	水辺に親しめる場	子どもの遊び場
地域	(56.1%)	(37.9%)	(27.3%)
湊・白銀・鮫地域	自然散策や憩いの場(4	3.9%)	災害時の避難の場
	子どもの遊び場(43.9%	6)	(31.5%)
豊崎地域	子どもの遊び場	自然散策や憩いの場	水辺に親しめる場
	(57.1%)	(31.0%)	(28.6%)
館・是川地域	自然散策や憩いの場	子どもの遊び場	水辺に親しめる場
	(36.4%)	(31.2%)	(28.6%)
大館地域	自然散策や憩いの場	子どもの遊び場	水辺に親しめる場
	(39.0%)	(35.6%)	(32.2%)
南浜地域	子どもの遊び場	自然散策や憩いの場(30	0.8%)
	(43.6%)	樹木や草花を観賞できる	5場(30.8%)
総計	自然散策や憩いの場	子どもの遊び場	水辺に親しめる場
	(44.4%)	(37.6%)	(26.1%)

緑との関わりについて

- ・現在の緑との関わりとしては、「自宅の庭に樹木や草花を植えている(80.2%)」が 最も多く、次いで「家の中に鉢植えを置いている(74.2%)」となっており、これ は地域別にも同様な傾向があります。
- ・また、今後の緑との関わりとしては、「自宅の庭に樹木や草花を植える(51.2%)」が最も多く、次いで「家庭菜園で野菜等を栽培する(37.2%)」となっており、これも地域別に同様な傾向があります。

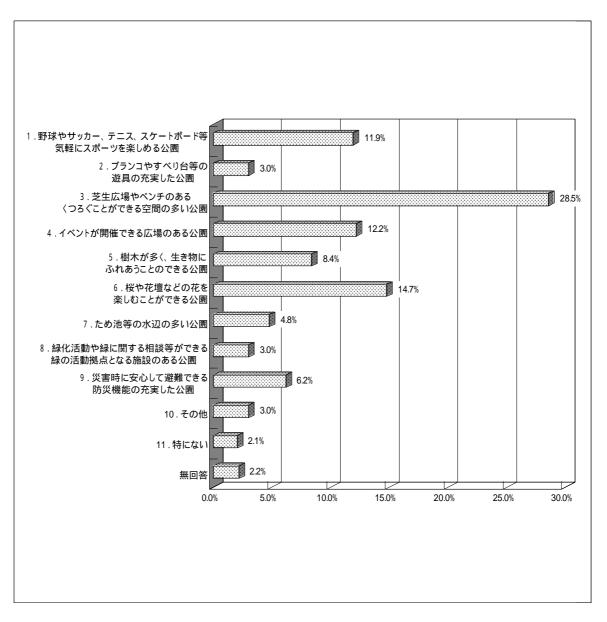


- ・今後緑に関わっていく上で必要なこととしては、「自然教育の実施(44.2%)」が最も多く、次いで「花苗、種等の配布(34.5%)」「花の植え方等を教える講習会の開催(31.7%)」となっており、これは地域別にも同様な傾向があります。
- ・傾向としては、「花苗」やそれらを買うための助成よりも、「自然教育」や「講習会」 等の緑に関する知識や情報の提供を望む声が比較的多いと言えます。



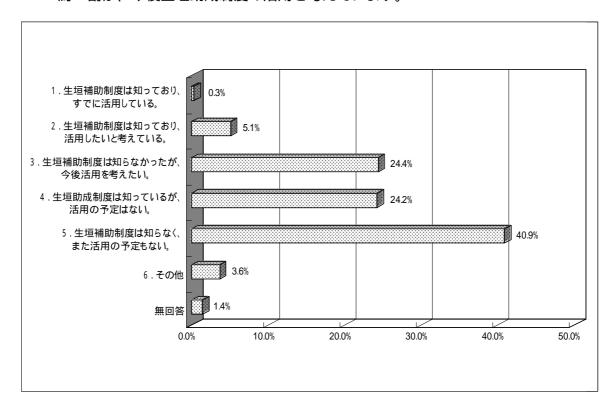
長根公園について

- ・現在の利用状況を市全体でみますと、「ほとんど利用しない(66.6%)」が最も多く、 あまり利用されていない状況にあります。地域別にみても同様な傾向にあり、公園 のある中央地域とその周辺の下長地域、根城・田面木・新都市地域においても、利 用頻度は高くありません。
- ・今後の整備の方向性を市全体でみますと、「くつろぐことができる空間の多い公園 (28.5%)」が最も多く、次いで「花を楽しむことができる公園(14.7%)」となっています。



生垣助成制度について

・生垣助成制度の認知は約3割と低い状況にありましたが、制度を知らなかった方の 約4割が、今後生垣助成制度の活用を考えています。





市内 10 地域ごとに、地域の緑に関する問題点やまちづくりの方向性を議論するワークショップを開催しました。その進め方の概要は以下の通りです。

【目的】

・可能な限り緑に関する市民の詳細な地区情報と地域ニーズ、いわゆる"生の声"を把握し、地域別の緑のまちづくりに活かす。

【地域区分】

・都市計画マスタープランの地域別と同様に10地域とする。

【実施回数】

・年度内に4回実施

第1回「八戸の緑に関する現況について」 ↓

第2回「地域の緑を点検しよう」

・良いところ、良くないところ点検マップづくり

第3回「緑のまちづくりについて考えよう」

・提案マップづくり

第4回「地域のまちづくりのテーマを考えよう」

- ・提案マップの確認と地域別まちづくりのテーマ
- ・長根公園について再整備の方向性

第1回ワークショップ(八戸市の緑の現況について)

参加者が意見をまとめた際のキーワード	意見のまとめ
・緑の拠点づくり・顔・市を代表する公園がない・市の顔となる公園や緑をつくる・中心市街地の緑	緑の拠点づくり 八戸の顔づくり 八戸らしい緑の創出
 ・多様な緑 ・資源の活用がなされていない ・緑を増やしたい ・もっと緑 ・緑とのふれあい ・公園が少ない ・公園のバランス 	多様なニーズに応じた緑の創出 計画的な緑の配置
·適材適種	地域特性を踏まえた緑化
・街路樹不満 ・街路樹、並木道 ・街路樹のあり方 ・歩道が不満	街路樹の維持管理 街路樹の整備
・つながれ緑 ・緑の道づくり	緑のネットワーク
・水と緑のふれあい・水辺の活用・生物と流水	河川沿いの緑化 親水空間の整備 生き物とのふれあいの場、多様性の創出
・守るべき緑・八戸らいい緑を守る・森を守る	山林·里山の保全 海岸部の緑の保全
・八戸らしい木を守る ・大きな木を守る	街中の樹木を守る
・手入れ不満・公園管理・遊具の整備・管理(行政と市民)	緑の維持管理環境の保全
・市民のモラルづくり・イベント・住民意識	市民意識の啓発協働による公園整備
·景観 ·暗い	景観づくり・イメージづくり

第2~4回ワークショップのまとめ(主な意見、内容)

	良いところ	良くないところ	提案の内容	緑のまちづくりのテーマ (キーワード)
市川地域	・崖線の緑が良いので残したい ・湿地をビオトープ的に残したい ・奥入瀬川の河口に渡り鳥が来る ・五戸川や奥入瀬川がある	多い ・街路樹が電線のため生育が悪い ・雑草が繁茂して見通しの悪いところがある	・五戸川及びその河口付近の自然環境の保全と 市川海岸の砂浜の再生・湧水の水源となる樹林地の保全・公園の維持管理の充実	「地域全体が里山公園」「昔ながらの自然」「ヤマセ」「北浜」「砂浜・干潟」
下長地域	・身近な公園が多い ・神社や古木・高木が多い ・高台が多く見晴らしが良い ・白鳥やホタル等の生き物がいる	・公園の緑や街路樹などの維持管理が良くない・南部山は自然環境が悪くなっており、また利用しにくい・緑化に対する関心が薄い所がある・公園等に植える樹種に問題がある	・南部山公園は、植栽の更新とともに環境学習の拠点として活用 ・水辺の楽校の整備の推進 ・斜面緑地の保全と、それを活かし歴史資源等 を結ぶ散策路の整備	「眺望(夜景)」「自然の中をウォーキング 」「歴 史・伝説 」「水・湧水 」
'\戸駅周辺 也域	・公園や学校などの樹木が美しい ・道路沿いが花壇で緑化されていると ころがある	・駅前や道路沿いの緑が乏しい ・馬淵川沿いを有効活用して欲しい	・八戸駅西口は、フラワーポット等による緑化 の推進 ・浅水川に桜を植栽し並木をつくる	・豊かな水辺のエコ都心 「親しみある水辺空間」「玄関口」「発展」
中央地域	・馬淵川と新井田川は、緑や鳥などの生き物が多い ・館越山や長者山等のまとまった緑がある ・三八城神社やおがみ神社等の歴史資源が多い	・中心中街地は緑か少ない ・河川は、ゴミが捨てられる、夜暗くて怖いなど問題がある ・街路樹の維持管理に不満がある	・長根公園は、市街地内の市民の憩いの場として緑地や水辺の整備 ・三八城公園は、神社と一体的な整備に向けた検討 ・長者山等の樹林地の保全の眺望点の整備 ・中心市街地の緑化の推進	「にぎわい」 「身近に緑と水(海) 歩いて楽しめる」 「歴史・文化(祭)」
	・眺めが良いところがある ・工場敷地に緑が多い ・樹林地や古木が残っている	・公園や道路緑地の管理が不充分 ・街路樹等で歩道が狭いところがある ・公園などの既存資源を上手に活かして質を高 めて欲しい	・海辺の工場地帯において、海辺に親しめる空間を整備するとともに、良好な景観づくり ・新井田川の桜並木等の緑について、市民参加 による維持管理の推進	
艮城・ 田面木・ 折都市地域	・公園や橋からの眺めが良い ・並木等の樹木が美しい ・美しい樹林が残っている	・街路樹の維持管理が十分とはいえない ・白山台公園等の未整備の緑地がある	・白山台公園の整備推進 ・国道 104 号の街路樹の整備推進 ・土橋川、坂牛川の保全と活用	「根城跡」「自然の多さ」
奏・ 白銀・ 蛟地域	・海岸に面しており、高台からの眺め も良い ・館鼻公園や東墓地公園等の緑が多い 公園がある	・公園の配直が偏っていて少ない地域がある ・	・館鼻公園、鮫公園は海を眺める眺望点として 整備 ・陸奥湊駅前の道路は歩道が狭いため、今ある 街路樹を見直す ・東運動公園の機能の充実	・" 点から線へ " 海と山地域特性を活かした緑のまちづくり 「海と山」「東運動公園」
豊崎地域	・大仏山や神社等の自然と歴史が多くみられる	・公園や広場が少ない ・通学路等の道路が不充分である	・大仏山周辺の自然の活用 ・国道 454 号の緑化 ・浅水川に親しめる整備	・大仏山ふれあい公園
言・ ≟川地域	・山林などの自然が豊かである ・是川縄文遺跡など歴史資源が多い ・是川団地は公園が多い ・中央公園は樹種が豊富で良い	の手入れが行われていない ・公園の整備年度が古く、遊具も老朽化してい る	・櫛引八幡宮や是川縄文遺跡の歴史資源を活かした整備の充実とそれらを相互に結ぶネットワークの充実 ・新井田川や頃巻川の保全と活用 ・「柿」を活かした景観づくり	「縄文文化」「国宝級の文化財」「自然」「柿」
大館地域	・新井田公園周辺の景観が良い ・旭ヶ丘団地の街並み景観、公園が良 い ・馬渡川周辺には農地や里山がある	・道路が狭いため歩道や植樹スペースが十分でない・山林部分で乱開発が行われている・こどもの国へのアクセス路が十分でない	・新井田川の桜等の緑の維持管理の充実 ・松館川を活かして八戸公園と結ぶ ・八戸公園の機能の充実 ・水源地周辺の緑の保全	「人、自然、歴史、水の資源を沢山有している 「里山と住宅地」 「今ある資源を活かした環境学習」
南浜地域	・海岸や水辺、湧水、森林等の自然に 恵まれている ・神社や遺跡等の歴史がある ・自然公園は八戸観光・レクリエーションのシンボル	・歩道を整備して欲しい ・自然環境に悪い影響を及ぼすようなマナーの 悪さがある ・生活排水が混入し水質が悪化している ・廃屋が多い	・大須賀海岸付近の湿地等の自然環境の保全 ・プレイピア白浜の遊歩道整備 ・水源地の緑の保全 ・県立少年自然の家の自然環境を活かした観察 会の実施	「自然の維持保全(みんなで自然を手入れして 保つ)」